

令和3年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担 当 課 係 都市整備課 都市整備・側溝清掃担当

事務事業名	排水路維持管理事業		事業予算費目			
総合計画上の位置付け	政 策	① 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	款	8	土木費	
	基本目標	1. 安全・安心なまちづくり	項	7	都市計画費	
	施 策	1-1 安全・安心な日常生活の確保	目	3	都市下水路費	
	基本方針	1-1-1 防災・減災対策の推進	事業	6	排水路維持管理事業	

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	排水路の適切な機能管理を行うことにより、降雨災害に強い都市づくりを推進する。	事業の内容	市が管理する排水路の通水を阻害する草木や堆積土砂の除去及び水路壁の修繕等を行う。
-------	--	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名		単位	実績		目標		
	事業の箇所数			R2	R3	R4	R5	
指標の説明	箇所数		箇所	目 標	0	1	0	1
	箇所数を合計したもの			実 績	0	1		
		R2年度決算	R3年度決算	R4年度予算	市民一人あたりのコスト			
関連事業費	財源内訳	事業費	0	3,949,000	0	R2	0	
		国県支出金	0	0	0	R3	108	
		地方債	0	3,900,000	0	各年度4月1日現在の人口		
		利用者負担・その他	0	0	0	R2	37,243	
		一般財源	0	49,000	0	R3	36,670	

■評価（CHECK）

事業の方向性	○	拡 充	縮小して継続	判定理由	排水機能の維持は浸水被害の軽減、防止に必要不可欠なものであることから、現状のまま継続する必要がある。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
		現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	特に市街地において、以前は農業用水路として利用され地元の農業者等により草刈りや施設の修繕などの機能管理が行われていたが、近年は耕作者の減少等により管理が行われず放置されている水路が増加傾向にある。
今後の方向性	緊急自然災害防止対策事業債等の財源を活用し、排水路の通水を阻害する草木や堆積土砂の除去及び水路壁の修繕等を実施し、機能維持に努める。